

## ⑥ リフレッシュデイの推進に関すること

### 【小・中学校】

- ・週の初めに周知することで、計画的に仕事を進めていくと共に、身体的・精神的なリフレッシュを図ることにつながった。
- ・各部活動毎の週1回のリフレッシュデイを設定し、「休日の部活動記録簿」に部活動計画とリフレッシュデイの設定日を記入し、管理職等が点検するようにした。
- ・昨年度から家庭の日には、公式大会や大会直前ではない限り、原則として部活動停止としている。また、基本的に週1回は部活動休養日を取り入れるよう呼びかけている。顧問の状況もあるが、昨年度以上にこの取組は浸透してきている。
- ・夏季休業中に2週間のリフレッシュウィークを設けて、その期間は会議や研修等を行わないようにした。その結果、夏季休暇、夏季リフレッシュ休暇取得率が100%になった。

### 【県立学校】

- ・学校衛生委員会から月1回のリフレッシュデイ設置を提案し、実行した。
- ・リフレッシュデイについて、管理職だけではなく、各部主任からも帰りやすいように周囲に対して呼びかけを行ってもらっている。
- ・職員室の黒板に「リフレッシュデイ」を板書しており、職員朝礼で呼びかけを行っている。また、音楽を流し、退庁時間を知らせるようにしている。
- ・ネームホルダーの裏側に全職員「リフレッシュデイの推進、ノー残業デーに努めます。」と印刷したものを入れ意識化を図った。

